



J R 連 合 NEWS

JRに集う
すべての仲間の
JR連合への
総結集を！！

2021 年度

No. 1

2021年6月17日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 第 31 回 定 期 大 会

難局を乗り越え J R 産 業 の 持 続 的 成 長 と 組 合 員 ・ 家 族 の 幸 せ を 実 現 し よ う ！

J R 連 合 は 6 月 16 日、ホテルアソシ
ア豊橋において第 31 回定期大会を開催
した。会場に感染症対策を施した上でリ
モート併用の議事運営とし、2021 年度
の運動方針を満場一致で決定した。



冒頭、荻山市朗会長は、コロナ禍にお
いて果敢に緊急政策課題への対応に取り
組んできたことに触れた上で、安全の確立とポストコロナ時代の運動の展開について
重点を置いた挨拶を行った。特に後者については、本大会で運動の羅針盤となる政策提
言「将来を見据えた J R 産業のあり方と私たちの働き方」（以下、提言）を提起すること
から、産業政策と労働政策の両面で能動的に議論をリードする決意を明らかにした。

議事では 2020 年度の経過を報告するとともに、新たに加盟した「交運共済労働組合」
を紹介し、満場の拍手で迎え入れた。また、提言については、運動方針の一部として大学
教授やマスコミ有識者の 3 名の講演で補強するとともに執行部から概要を提起した。そ
の後、11 人の代議員・特別代議員から質疑を受け、執行部から答弁・総括答弁を行った。

総括答弁では尾形泰二郎事務局長から、「厳しい環境下でもいつか報われると信じ、絶
対に諦めることなく、安全も安心も自分たちの手でつかみ取るべく行動し続けよう。『J
R 連合ビジョン』を掲げてより組織を強化・拡大していくとともに、『提言』の浸透に向
けた各単組との議論を通じて運動の幅を広げ、J R 産業の明るい未来を切り拓こう」と
力強く訴えかけた。その後、すべての議案と大会宣言が採択され、荻山会長の団結が
んばろうで、大きな節目とも言える新年度へのスタートを切った。

役員改選では、事務局長の尾形泰二郎氏、執行委員の今井孝治氏、中山耕介氏、中村鉄
平氏、北村公次氏が退任し、政所大祐事務局長、相良夏樹執行委員、宮野勇馬執行委員、
森安祐貴執行委員、鎗光俊勝執行委員を新たに選出、新体制を確立した。